

2015年4月13日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第18号

ルイ・バルボサ通り、無人ビル不法占拠者の排除作戦について

リオ州第2軍警察本部によれば、最近問題になっていた、フラメンゴ地区、ルイ・バルボサ (Rui Barbosa) 通り 170 番地のヒルトン・サントス・ビルにホームレスが不法に居住している件につき、4月14日(火)午前6時30分から、第2軍警察本部と軍警察機動隊が合同で不法占拠者の排除のための作戦を実行するとのことです。

17階建ての同ビルには、先週7日(火)から、貧民層のホームレスが不法に居住しており、リオ市などが、代替え住宅の提供を示しながら立ち退きを求めていましたが、不法占拠者らは説得に応じず、今回の強制排除が決定した模様です。

軍警察によれば、不法占拠している住人側が武器を持っている可能性は低いとしていますが、警察による強制力の行使が予想されるため、明日14日の早朝は、同ビル付近には近寄らないようにして下さい。